

その一方で、新型コロナウイルス感染症については、ワクチンの接種が始まり、収束への第一歩を着実に歩み始めたものの、感染力の強い変異株の出現により、外出や飲食などの自粛、商

夏には、希望の灯となる聖火が当町を駆け抜け、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響による1年遅れでの開催ではありましたが、選手の熱気あふれる姿に勇気づけられ、多くの感動が生まれ、日本全国が歓喜に包まれたことは記憶に新しいところです。



店の営業時間の短縮、学校行事やまつりなどのイベントの変更・中止など、引き続き大変な忍耐を強いられた一年でもありました。

そのような中、私は、昨年6月に行われた町長選挙におきまして、引き続き4期目の町政運営の舵取り役という重大な役目を仰せつかりました。次の世代に「ふるさと杉戸」をつないでいくためには、コロナ禍における大変厳しい状況を乗り越え、「杉戸町を元気にしていこう」と決意を新たにしているところでございます。

杉戸町を元気にしていくために、令和4年度に最優先して取り組むべきは新型コロナウイルス感染症対策です。

新型コロナウイルス感染症は、想定をはるかに超えて長く、かつ大きな影響を

もたらしております。町民の生命・身体を守るため、現在、実施しております3回目のワクチン接種をはじめとした新型コロナウイルス感染症対策については、職員がワンチームとなって、関係各所と連携を密にし、迅速かつ柔軟に対応してまいります。そして、もう一つの重要課題が人口減少対策です。町の将来を支える若者の人口増への取組は喫緊の課題であります。若者、特に子育て世帯に「選ばれるまち」となるように、結婚、出産、子育ての全ての期間を安心して過ごせる環境づくりに努めていきたいと考えています。これまでも出産お祝い事業、町立幼稚園における満3歳児受入事業、子育て世帯移住・定住促進事業など様々な施策を実施しているところですが、さらに支援を充実させ、子育て

が好きになるまちを目指してまいります。また、現在進めております東武動物公園駅東口通り線整備推進事業や旧杉戸小学校跡地活用事業は、新しい町の顔となり、多くの人で賑わい、町の認知度や魅力度を高め、「選ばれるまち」につながるものですので、来年度も着実に推進してまいります。以上の、重点事項とともに、第6次杉戸町総合振興計画に掲げた8つの未来像の実現に向けた各種施策を通じて、町民が安全に安心して暮らせる持続可能なまちづくりに取り組む所存であります。

より影響を受けた「杉戸町を元気にする予算」をテーマとし、財政の健全性確保に配慮した上で、人口減少に歯止めをかける取組、ウィズコロナやアフターコロナを視野に入れた新型コロナウイルス感染症対策などを基本として、予算を編成しました。

令和4年度 まちづくりの方針

～「ふるさと杉戸」を次の世代へ～

2月15日(火)、杉戸町議会3月定例会の冒頭、古谷町長は、令和4年度の施政方針と予算編成方針を表明しました。

「施政方針」とは、これからの町政運営に向けて基本的な考え方と主な施策を示すものです。

今回の特集では、施政方針の概要と、4月からの新年度で取り組む主な施策を紹介します。

※町長が表明した左記方針は、文章を一部要約しています。

問合せ 総合政策課 政策行革担当 内線209
財政担当 内線272

第6次杉戸町総合振興計画

まちの将来像「みんなで育てるまち すぎと ～自然とやさしさがあふれるまちへ～」の実現を図るための、8つの未来像を施策の柱にまちづくりを展開しています。

- 未来像1** まちぐるみで子育てに関わり応援できるまち
- 未来像2** 子どもたちに未来を拓く力を育むまち
- 未来像3** 生涯を通じて学び、郷土に愛着を持てるまち
- 未来像4** 自らの健康を守りながら安心して暮らせるまち
- 未来像5** 地域がつながり、安全で災害に強いまち
- 未来像6** 魅力ある産業を育み、発信できるまち
- 未来像7** 機能的で自然と調和した快適なまち
- 未来像8** 信頼される行政運営を推進するまち

▼この表紙が目印
令和3年度から令和12年度までの基本構想および令和3年度から令和7年度までの前期基本計画が掲載されています。ホームページにて閲覧できるほか、総合政策課窓口にて有償配布しています。(1部1,000円)

